

さむかわ

発行 社会福祉法人
寒川町社会福祉協議会
寒川町宮山 401 番地
寒川町健康管理センター内
電話 0467-74-7621
FAX 0467-74-5716
ホームページ
「寒川町社協」で検索
Eメールアドレス shakyo@t-samukawa.or.jp

この広報紙は皆さまからお納めいただいた一般会費および賛助会費と共同募金配分金により作成・発行しています。

今年はオンラインで ボランティア体験会

ボランティア団体の皆さまにご協力いただき、活動の様子などを動画で
撮影してインターネット配信することとなりました。
8月28日（金）より公開！ぜひご覧ください。

開催方法を工夫して学びの「秋」



体験会の視聴方法
（インターネット）

★寒川町社協のホームページから
「ボランティア体験会 2020」を
クリック！



「認知症」は、とても身
近な病気です。だからこそ、
ご近所さんで支え合えば、
安心。講座開催のご希望は
地域包括支援センターまで
（連絡先4面）



動画を見て気になったことや知り
たいこと、活動参加のご希望
などは、ボランティア
センター（連絡先4面）
へお問合せください。



換気しながら 人数で

認知症サポーター養成講座

正規職員募集

詳細は町社協ホームページを
ご覧ください。

10月1日から共同募金運動が始まります

全国共通テーマ『つながりをたやさない社会づくり』

今年は、コロナ禍に対する各種支援を行っている共同募金。10月から始まる募金運動では皆さまのご理解とご協力をいただければ幸いです。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら取り組みます。



募金運動の内容と主な使いみち

赤い羽根共同募金

町内および県内のコロナ禍による生活困窮世帯支援、子ども支援、地域支援

年末たすけあい募金

町内の生活保護に準ずる生活困窮世帯（準要保護世帯）への教育支援、障がい者支援

募金にご協力いただく方法

- ① 戸別募金…自治会のご協力による
- ② 学校募金…町内の小中学校
- ③ 街頭募金…町内の駅やスーパーで
- ④ 窓口募金…町社協窓口にて

※お知らせ

- ・募金をしていただいた方には、赤い羽根またはありがとうステッカーをお渡しします。
- ・募金には、税制上の優遇がありますので、ご希望の方は町社協へお問合せください。

団体

匿名4名
国際ソロプチミスト寒川

個人

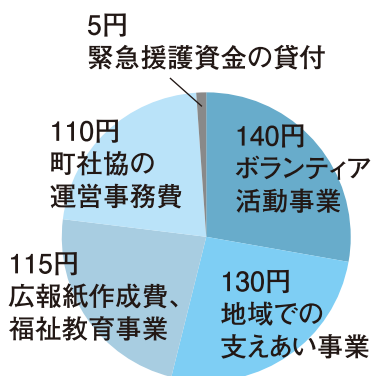
増島靖治
鉾岩巖
合計140,000円、
手作りマスク850枚、新品作業着20着、
切手1,691円分



令和2年6月16日～
令和2年8月3日

次の方々より、町社協へ
金品のご寄付をいただきま
した。地域福祉事業推進の
ために役立たせていただきま
す。敬称は略させていただきます

一口 500円の使いみち



自治会員の皆さま、地域の皆さまにご協力をいただきました。一般会費は、お陰様をもちまして8月3日現在で4,238,400円になりました。皆さまからご納入いただいた一口500円の会費は、次のとおり使わせていただく予定です。コロナ禍において、社協会費ご納入にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

一般会費納入のお礼

皆さまのご協力に心よりお礼を申し上げます

マスクありがとうございます

「子どもの顔の大きさに合うように調整して作りました」「これ、売り物？素敵なマスクばかり」「孫にお揃いのを2つ、助かるわ」「1枚の布マスクを毎日、洗濯していました。すごくありがたいです」

マスクの箱が、皆さんの気持ちを つないでいます。(町健康管理センター1階に設置)



権利擁護コラム

「成年後見制度はハードルが高いし、まだ必要ない気がする。障がいのある我が子の将来の自立に向けて、何かもっと気軽に利用できるものはないかな？」

将来的に親元を離れてグループホームに入るなど、自立を想定した第一歩として、日常生活自立支援事業の利用を検討してみてもいかがですか？

ご本人の自主性を尊重しながら、金銭管理のお手伝いをする中で、自立を支援するサービスです。利用者本人と契約を結び、生活状況やご希望を踏まえてそれぞれに合う支援計画を作ります。

★お問合わせは、町社協の権利擁護事業担当までお気軽にどうぞ。

催し物・相談等のご案内

お問い合わせは町社協（連絡先は1面）へ

今年は『みんなの福祉作文』募集します ～子どももおとなも、ご応募ください～

応募期間：9月1日(火)～9月30日(水)

応募方法：窓口へ直接持参、メール、FAX
(詳細は1面右上枠内に記載)

応募対象：町内在住、在勤、在学の方、どなたでも

応募基準：日本語で400字以内、書式自由

- ① 題名の有無は問いません。
- ② 参加賞をお届けする都合上、住所・氏名は必ず、可能であれば年齢を、欄外等にご記入ください。

※お願い

- ・応募作品はすべて、町社協の理事および職員で拝読し、12月に開催予定の町社協福祉大会で作品集として配布します。
- ・作品集は町社協窓口、ホームページでの閲覧や町内関係機関への配架等を予定しています。
- ・作品集では、氏名はイニシャルで、住所は地区名（岡田等）のみ記載します。
- ・応募作品はお返しできません。

※上記内容をご了承の上、ご応募ください。

義援金は、被災者に配分されます ～ご協力をお願いいたします～

相次ぐ災害。しかし、今年はコロナ禍で災害ボランティアの活動も制限されており、被災された方々はより一層の苦しみを抱えています。離れていてもできる支援、それが「義援金」です。皆さまのご協力をお願いいたします。

※町健康管理センター1階に、下記義援金の合同募金箱を設置しています。特定の地域に義援金を送金したい方は、町社協にお問合せください。なお、いずれの義援金も締切があります。

【現在、受付中の義援金(直近から主なもの)】

令和2年7月豪雨関連

- 熊本県、福岡県、鹿児島県、佐賀県(～12月下旬まで)
- 岐阜県、鳥根県、長野県(～9月下旬まで)
- 県域を超えて(～12月下旬まで)

令和元年台風15号、19号災害関連 ほか

子育てサロン 再開します！

日 程： 9月23日(水) 運動会 体育館サブアリーナ
10月21日(水) 内容未定 町健康管理センター
多目的ホール

いずれも時間は10:00～11:30

対 象：町内在住2～3歳のお子さんと保護者

参加費：対象児1人につき100円

申込み：町社協ボランティアセンター（連絡先4面）まで

【新型コロナウイルス感染症予防のため、 以下のような対策を実施します】

- ・事前申し込み制、先着順定員あり
- ・入場時の検温、マスクの着用、手洗いや消毒の実施
- ・接触や飲食を避けた内容に変更

※最新情報はTwitterでご確認ください

気軽にご利用ください

心配ごと相談

誰に話せばいいのかわからない、ひとりで抱えて苦しい。まずはお話を聞かせてください。

対 象 どなたでも
場 所 町健康管理センター
問合せ 町社協(連絡先1面)

平日 午前8時30分～
午後5時15分

成年後見相談

判断能力が不十分、障がいの子どもの親亡きあと、認知症の家族等、心配…。

対 象 どなたでも
場 所 町健康管理センター
※前日までに要予約。
1人1時間まで。
問合せ 町社協(連絡先1面)

9月4日(金) 午後1時～
10月2日(金) 午後1時～

こすもすカフェ

認知症の方でも地域の方でも、どなたでも気軽に参加できる喫茶店のような場所が“認知症カフェ”です。

対 象 どなたでも
場 所 ふれあいの家こすもす(寒川町岡田7-3-3)
日 時 毎月1回金曜日開催
14:00～15:30
問合せ 地域包括支援センター(連絡先4面)

9月 中止
10月 中止

紙面に掲載したイベント等は、新型コロナウイルスの影響により、中止や延期となる場合があります。

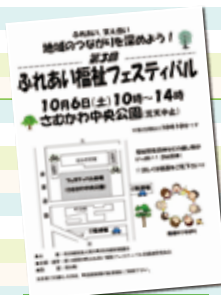
ふれあい福祉フェスティバル

今年は中止です。

ふれあい福祉フェスティバルは、地域で活動する団体が“ふれあい、ささえあい、地域のつながりを深めよう”をテーマに、福祉の充実したまちづくりのための活動を、多くの人々に知って欲しいとの思いで、毎年10月に開催しています。

今年は第11回目のフェスティバルを開催予定でしたが、コロナ禍の影響で中止を決定しました。昨年に続く中止は、大変残念です。

これまで参加してくださった各団体の皆さんと、町民の皆さんに感謝しております。来年こそは必ず、ふれあい福祉フェスティバルでお会いしましょう!!



第3回



第4回



第5回



第6回



第7回



第8回



第9回



第10回

こんにちは、地域包括支援センターです

高齢者のみなさまの相談窓口です

電話 0467-72-1294 FAX 0467-72-5552

メール houkatu@t-samukawa.or.jp

〒253-0106 寒川町宮山165 町役場1階

★ストレス解消できていますか?★

暑さも残る中、みなさんいかがお過ごしでしょうか。今年の春は、新型コロナウイルス感染症の影響で地域包括支援センターへの相談が増えていました。「いつも行くところに行けなくなった」「会いにきてくれていた孫たちが来られなくなった」…等、自粛生活の中で心身のバランスを崩してしまったり、認知症が進んでしまった方に多く出会いました。人は一人では生きていけないのです。また、普段通りにできないということは新たなストレスを生むようです。みなさんはそれを発散する方法をお持ちですか? また、困ったことがあったときに悩みを相談できる人はいますか?

悩みを一人で抱えようと心はパンクしてしまいます。人と話したり、散歩して外の空気を吸ったり…。自分なりの発散方法を持っておきたいものですね。しかし、介護のこと、認知症のこととなると相談しづらく、抱え込んでしまいがちです。そんなときは地域包括支援センターがあります。お気軽にご相談ください。

認知症地域支援推進員 高橋愛美

ボランティアセンターからこんにちは!

ボランティアしたい! 頼みたい! を応援します

新しい傾聴ボランティアのかたち

「傾聴」は話を聞くことで相手の心の安定を助ける、コミュニケーションの技術のひとつです。

誰かと話したい、話を聞いて欲しい…ボランティアセンターにはそのような相談も寄せられます。

今は対面での長時間の会話を控える必要があるため、7月から新たに電話による傾聴ボランティアの活動を開始しました。

お相手は一人暮らしの女性。30分程度のおしゃべりで気持ちがいぶ明るくなった様子でした。

こんな今だからこそできること。

新しい生活様式を踏まえたボランティア活動を、さらに広げていきたいと思っています。

寒川町社協ボランティアセンター

電話 0467-72-3721 FAX 0467-72-0277

メール vc3721@t-samukawa.or.jp

〒253-0106 寒川町宮山401 町健康管理センター 3階



ボランティアラビットの「ほらびちゃん」

編集後記

子ども食堂の肉じゃが定食とおにぎり弁当を、ごちそうになりました。どちらも本当に美味しくて、気持ちもほっこり。そこにある子どもたちの笑顔を見て、また、ほっこり。人を想う気持ちが、いろいろな形でつながる。すごく心地いいなと、改めて思いました。

子ども食堂えんがわ



席は離して

工作はお土産に



小谷こどもカフェ



おにぎり弁当を作り

テイクアウトで



どうしたら、できるかな…運営の皆さんの工夫で 久しぶりに子どもの笑顔に会えました